

■橋孝三郎 農本ファシズム指導者。エリート主義に反発して農業に転じ、右翼革命運動、〈五・一五事件〉を起こす。

たちばなこうざぶろう

郡司千島探検1893＝ 水戸市上町馬口労町で三男に生まれる。

日清戦争始・1894＝ 1歳：

教科書疑獄・1902＝ 9歳：

日露戦争終・1905＝12歳：

大逆事件判決1911＝18歳：

明治天皇没・1912＝19歳： 水戸中学を卒業し、一高文乙に入学したが、

21ヶ条要求・1915＝22歳： 一高生の抱く功利主義・立身出世主義に反発、自分の住むべきは自覚した百姓生活との認識に到達して、中退し、茨城県東茨城郡常磐村(水戸市新原)で三町歩の農場経営を開始。

その後、実兄・実妹・義弟らの参加により

大暴落・・・1920＝27歳： この頃には、*兄弟村農場の称を得る。

原敬首相暗殺1921＝28歳：

金融恐慌・・・1927＝34歳：

農村を巡回する講演活動に乗り出し、農村青年の啓蒙教化のため、権藤成卿・林正之らの協力を得て、

世界恐慌・・・1929＝36歳： *大地主義・兄弟主義・勤労主義を三大原則とする{愛郷会}を創立、{愛郷}を刊行。

海軍軍縮条約1930＝37歳： *主著「農村学前篇」。

満州事変・・・1931＝38歳： {愛郷}を{農村研究}に改める一方、右翼革命運動への参与を決意、自営的勤労学校愛郷塾を開く。この間、井上日召と同志となり、海軍青年将校と交流、郷詩社に参加。日本村治派同盟創立総会に出席、執行委員となるが、真の農本主義を標榜して脱退、農村聯盟の結成を企て、

五一五事件・1932＝39歳： *{農本聯盟}を創刊し、第1回全国協議会を開くも三派に分裂。最過激派に属して軍青年将校とクーデタ計画を練り、渡満して奉天に至る。〈五・一五事件〉の一環として、愛郷塾生らによる農民決死隊が東京府下の6変電所を襲撃。指名手配されてハルピン憲兵隊に自首、殺人・同未遂などの罪で起訴され、

帝人疑獄事件1934＝41歳： 無期懲役の判決を受け、下獄。

この間、「土の日本」が出版される。

日中戦争始・1937＝44歳：

健保+総動員 1938＝45歳：

大政翼賛会・1940＝47歳： 恩赦により出獄、愛郷会の再興をはかり、

日米開戦・・・1941＝48歳：

敗戦・・・1945＝52歳： 敗戦後、

新憲法施行・1947＝54歳：

三大事件・・・1949＝56歳： 大川周明らと救国国民総連合を結成するが、

独立回復・・・1951＝58歳：

内部分裂に嫌気して離れ、以後、著述に専念して、

国連加盟・・・1956＝63歳：

安保闘争・・・1960＝67歳：

大学紛争始・1965＝72歳：

石油ショック1973＝80歳：

角栄金脈辞任1974＝81歳： 没した。